

地域保健課

Ⅲ 地域保健課の業務概要

地域保健課の業務は、保健師関係指導事業、母子保健事業、一人ひとりに応じた健康支援事業、地域・職域連携推進事業、栄養改善事業、精神保健福祉事業、肝炎治療特別促進事業、難病対策事業等を主業務として広域的専門的業務を実施している。また、管内市の保健、医療、福祉の関係機関と連携を深め、事業の推進に努めている。

1 保健師関係指導事業

保健師は、地域保健課・疾病対策課・企画課に配属され、各課の業務に対応した活動を行っている。また管内市の保健師活動への支援・調整も行っており、地域保健活動の推進と保健師等の資質向上のために、研修会や連絡会議を開催した。

2 母子保健事業

母性並びに乳幼児の健康の保持増進を図るため、管内市と連携しながら訪問指導事業、小児慢性特定疾病医療支援事業、長期療養児支援事業、思春期保健事業、特定不妊治療費助成事業、不妊相談センター事業を実施した。また、母子保健の向上及び地域の支援体制を整備するため、母子保健推進協議会を開催した。

3 成人・老人保健事業

介護老人保健施設に対し、サービスの質の確保、入所者の尊厳の保持、高齢者虐待防止法の趣旨をふまえ、看護及び栄養面等の実地指導を行った。

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じた確かな自己管理ができるよう、健康づくり支援体制を充実することを目的とし一人ひとりに応じた健康支援事業を実施した。

5 総合的な自殺対策推進事業

平成28年4月に改正自殺対策基本法が施行となり、自殺対策計画策定が市町村へ義務付けられ、その計画策定支援のため、市町村の主催会議に委員として出席した。また、身近な健康問題として自殺を捉えられるよう、啓発パンフレットを配布した。

6 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健が、健康の保持増進を図るために管内の行政機関、職域機関、医療保険者等が情報交換を行い、継続的な連携体制が構築できるようにするため、「地域・職域連携推進協議会」を開催した。

「たばこ対策」として、「たばこをやめたい人への支援」「受動喫煙防止」を取組みの重点活動として、禁煙外来についての情報提供、啓発のための媒体作成や出張講座を実施し、地域保健と職域保健が連携した事業を展開した。

7 栄養改善事業

生活習慣病予防と望ましい食生活の普及・定着を図るため、健康教育・栄養指導等を実施した。食環境整備のため、県民の健康づくりを応援する飲食店等の支援・指導、食品事業者に対する栄養成分表示に関する指導等を行った。特定給食施設等に対しては、健康増進法に基づく適切な栄養管理が実施できるよう指導・支援を

行った。

8 精神保健福祉事業

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）」に基づく、措置入院・医療保護入院の法施行業務、精神保健福祉相談・訪問指導を行っている。また、精神障害者家族の支援として講演会、管内関係機関向けの講演会を行った。なお、通報等の対応は中核市である柏市分も行っている。

9 肝炎治療特別促進事業

平成 20 年度から千葉県肝炎治療特別促進事業として、B 型肝炎・C 型肝炎に対するインターフェロン治療、また平成 22 年度から核酸アナログ製剤治療、平成 23 年度からインターフェロン 3 剤併用療法、平成 26 年度 9 月からインターフェロンフリー治療への公費負担による助成制度を行っている。加えて、平成 27 年度 12 月からインターフェロンフリー再治療へも助成が開始された。

10 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B 型・C 型ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的として平成 30 年 12 月から助成が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。

11 難病対策事業

平成 27 年 1 月より施行された、難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）に基づく医療費助成業務を行っている。

難病患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対しては、医療・福祉関係者による会議への出席や研修会の開催、訪問相談員の派遣、保健師による相談（電話や窓口面接）や訪問指導を実施し、在宅療養支援を行った。

12 市町村支援

管内各市の健康増進計画・虐待防止・自殺対策等に委員として出席し、専門的・広域的な視点から支援している。

また、保健師、栄養士等を対象とした研修会を開催し、地域保健活動の推進と資質の向上を図った。

13 保健所保健・福祉サービス調整推進事業

保健・医療・福祉関係者の連携強化や地域における人材確保・知識の普及啓発等を行うことで、在宅療養者に対する支援体制の推進を図ることを目的に、昭和 63 年 4 月に制定された「保健所保健・福祉サービス調整推進事業実施要綱」に基づき実施した。

1 保健師関係指導事業

(1) 管内概況

健康福祉センターの保健師は地域保健課、疾病対策課、企画課に配属され業務分担で活動し、平成30年度の管内保健師就業状況は、健康福祉センター17名、松戸市62名、流山市34名、我孫子市22名の計135名である。母子保健・思春期保健・地域職域連携推進事業・一人ひとりに応じた健康支援・市町村支援・精神保健福祉・感染症対策・難病対策・学生等の保健所実習等の分野で役割を担い、業務の推進を図った。住民への身近な対人サービスについては、主に市の保健師が対応し、その充実に努めている。

表1－(1) 管内保健師就業状況（平成30年4月1日現在）

(単位：人)

区 分 年 度	総数	保健所	市 町 村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
平成 28 年度	130	16	80	6	19	9
平成 29 年度	133	16	83	7	21	6
平成 30 年度	135	17	85	12	15	6
松戸市	62	-	48	1	7	6
流山市	34	-	23	7	4	0
我孫子市	22	-	14	4	4	0

(2) 保健所保健師活動

保健師活動状況は、表1－(2)のとおりである。

表1－(2) 家庭訪問等個別指導状況 (平成31年3月31日現在)

(単位：件)

区 分 種 別	家庭訪問		訪問以外の保健指導				個別の連携 ・連絡調整
			面 接		電 話	メー ル	
	実数	延数	実数	延数	延数	延数	延数(再掲：会議)
総 数	345	554	1,638	1,780	12,216	77	208(27)
感 染 症	103	103	30	60	4,795	-	4(1)
結 核	175	365	273	324	2,999	58	27(16)
精 神 障 害	5	5	3	3	49	-	1(0)
長 期 療 養 児	19	24	577	607	331	2	59(5)
難 病	42	56	114	138	450	17	109(5)
生 活 習 慣 病	-	-	-	-	8	-	-
そ の 他 の 疾 病	-	-	9	9	157	-	-
妊 産 婦	1	1	1	1	11	-	2(0)
低出生体重児 (未熟児)	-	-	-	-	-	-	-
乳 幼 児	-	-	-	-	14	-	-
そ の 他	-	-	631	638	3,402	-	6(0)
訪問延世帯数	345	554					

(3) 保健師関係研修(研究)会実施状況

ア 管内保健師業務連絡研究会

表1－(3)－ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開 催 年 月 日	テ ー マ	主 な 内 容	参 加 人 員
平成30年 5月28日	平成30年度の保健活動の共有を図る	① 平成30年度管内保健師等業務連絡研究会実施計画について ② 平成30年度各所属の重点・新規事業の紹介 ③ 情報交換	50人
平成30年 9月7日	保健師業務の基本を学ぶ	① 講義「保健師業務の基本を学ぶ」 講師 千葉県立保健医療大学 准教授 雨宮有子氏 事例検討及び助言指導・意見交換	35人
平成30年 10月17日	中堅保健師に求められる能力を学ぶ	① 講義「ファシリテータの役割を学ぶ」 講師 千葉県立保健医療大学 准教授 雨宮有子氏	33人

		② ファシリテーションのグループワーク	
平成 30 年 11 月 5 日	地域における健康危機管理体制の構築	① 報告「地域における災害対応」 報告者：市川健康福祉センター センター長 坂本泰啓氏 ② 災害想定演習	43 人
平成 30 年 9 月 7 日	保健活動業務研究の検討 ① (計画発表)	業務研究の計画発表、助言 助言者：千葉県立保健医療大学 准教授 雨宮有子氏	12 人
平成 30 年 11 月 22 日	保健活動業務研究の検討 ② (原稿内容発表)	業務研究の原稿発表、助言 助言者：千葉県立保健医療大学 准教授 雨宮有子氏	9 人

イ 所内保健師研究会

表 1 - (3) - イ 所内保健師研究会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員
平成 30 年 5 月 15 日	・所内研及び管内研の年間予定について ・各課の業務計画、業務予定 ・現任教育について ・業務研究について	14 人
平成 30 年 8 月 7 日	・医療機関立ち入り検査について ・研修復命「国立保健医療科学院 公衆衛生看護研修」 ・管内市の防災訓練の情報共有 ・現任教育の進め方	13 人
平成 30 年 12 月 4 日	・現任教育（新任期保健師目標シート、中間評価等） ・業務集録の内容共有 「外国人留学生の結核登録患者への有効な患者支援のあり方」 ・災害対策について「北海道派遣報告」	13 人
平成 31 年 2 月 5 日	・災害対策について「急性期における所内対応マニュアル」 「保健活動ガイドラインの改訂について」 確認、共有 ・感染症予防対策「歯科医師会へのアンケート実施報告」共有 ・現任教育（新任期、目標達成状況） ・来年度の事業計画について	16 人

ウ 保健所保健師ブロック研修会

表 1 - (3) - ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加人員
	※平成 30 年度は習志野健康福祉センターにて実施	

(4) 管内看護管理者研修会

表1－(4) 看護管理者研修状況

開催年月日	主な内容	参加人員
平成30年 7月31日	講演「看護職のレジリエンスを高める ～ラインケアの視点から考える～」 講師 シニア産業カウンセラー 家族相談士 吉澤 ゆかり氏	83人

2 母子保健事業

(1) 母子保健推進協議会

管内の母子保健施策を効果的に推進するため、医師会・助産師会・医療機関等の代表者及び管内市の関係者から構成する母子保健推進協議会を設置している。

表2－(1) 母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委員数	主な協議内容
平成30年11月1日	19人	① 管内母子保健の概況について ② 産後ケア事業の課題への取り組み実施状況について ③ 産婦健康診査について ④ 産後ケア事業の評価について

(2) 産後ケア連絡調整会議

産後ケア事業等にかかわる関係機関と市町村間の連携体制の構築や情報提供を図ること等により、市町村が産後ケア事業等を実施するための体制整備を推進することを目的とする。

表2－(2) 産後ケア連絡調整会議実施状況

開催年月日	参加者数・職種	主な協議内容
平成30年6月13日	21人 保健師等	① 平成30年度母子保健事業について ② 産後ケア事業について ③ 産婦健康診査について
平成30年11月1日 (母子保健協議会を兼ねる)	19人 医師、保健師、 看護師	① 管内母子保健の概況について ② 産後ケア事業の課題への取り組み実施状況について ③ 産婦健康診査について ④ 産後ケア事業の評価について
平成30年11月1日	40人 助産師、看護師、 保健師	講演「産後ケア事業の効果」 講師 東邦大学大学院 看護学研究科 福島富士子氏
平成31年1月28日	14人 保健師等	① 各市の産後ケア事業についての情報共有 ② 産後ケア事業の評価について ③ その他

(3) 母子保健従事者研修会

管内の母子保健事業従事者の資質の向上を図るために研修会を開催した。

表2- (3) 母子保健従事者研修会実施状況

研修会の名称	開催年月日	参加者数・職種	内 容
思春期講演会 (再掲)	平成30年 8月1日	35人 管内小中高等学校 教諭、行政関係者 等	講演「思春期における発達障害 ～理解と具体的支援～」 講師 千葉県精神保健福祉センター 臨床検査課長 石川 真紀氏
支援者研修会 (再掲)	平成30年 12月14日	18人 保健師	・講演1「慢性疾患児を抱える児への支援の ポイント ～神経・筋疾患を中心に～」 講師 松戸市立総合医療センター 小児科医師 小橋 孝介氏 ・講演2「小児が利用できる障害福祉制度に ついて」 講師 松戸市障害福祉課 小泉 直樹氏、高田 恵氏

(4) 人工妊娠中絶届出

母体保護法第25条の規定により医師から届出がなされた人工妊娠中絶実施報告に基づいた妊娠週数別・年齢階級別の届出数は表2- (4) のとおりであった。ただし、届出数には管外在住者分も含まれる。

届出総数については、平成27年度以降800件台で推移している。年齢別でみると、20～24歳が192件(23.6%)と最も多く、次いで30～34歳の171件(21.0%)であった。週数別でみると、満7週以前が422件(51.8%)と最も多く、次いで満8週～満11週が373件(45.8%)であった。また、20歳未満の割合は、平成28年度8.9%、平成29年度は8.1%、平成30年度7.2%であった。

表2- (4) 人工妊娠中絶届出状況

(単位:人)

区分 妊娠週数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成30年度									
			総 数	20 歳 未 満	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 歳 以 上	不 詳
総 数	860	824	815	59	192	161	171	146	82	4	-	-
満7週以前	441	463	422	28	89	80	93	77	52	3	-	-
満8週～満11週	375	329	373	29	100	78	72	64	29	1	-	-
満12週～満15週	15	10	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-
満16週～満19週	18	13	12	1	3	2	3	2	1	-	-	-
満20週～満21週	11	9	6	1	-	-	2	3	-	-	-	-
不 詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち医療保険が適用されず高額な医療費がかかる特定不妊治療（体外受精・顕微授精）に要する費用の一部を助成することにより、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることを目的としている。平成28年1月からは、男性不妊治療の一部についても助成が開始された。また、不妊に悩む夫婦等に対し、不妊相談センター事業として平成20年度から専門職による情報提供や医療面・精神面での相談を行っている。

ア 特定不妊治療費助成制度事業

表2－(5)－ア 特定不妊治療費助成実施状況

(単位：件)

年 度	実 件 数	延 件 数	内 訳			
			体外受精	顕微授精	男性不妊	そ の 他
平成28年度	554	963	184	395	4(9)	380
平成29年度	456	726	130	308	1(1)	287
平成30年度	541	923	182	376	2(2)	363
松戸市	284	481				
流山市	185	327				
我孫子市	72	115				

※男性不妊の件数は男性不妊治療単独の助成件数であり、()内の数値は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の助成件数である。

イ 不妊相談センター事業

表2－(5)－イ－(ア) 不妊相談実施状況

年 度	来所相談（専門医等）		電話相談（助産師）		来所・電話相談 （保健師）
	回数	相談人員	回数	相談人員	随時
平成28年度	11	40	11	14	37
平成29年度	11	26	9	11	66
平成30年度	10	37	12	13	51

表2－(5)－イ－(イ) 不妊講演会実施状況

開 催 年 月 日	内 容	対 象	参 加 人 員
平成30年10月5日	講演 「自分らしく生きる ～産婦人科医からのメッセージ～」 講師 ジュノ・ヴェスタクリニック八田 院長 八田 真理子氏	川村学園 女子大学	242人

(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度

小児慢性特定疾病児童等の健全育成の観点から、小児慢性特定疾病医療支援に係る医療費の一部を助成し、小児慢性特定疾病児童等家庭の医療費の負担の軽減を図ることを目的としている。

対象者：18歳未満の児童（継続認定者は、20歳の誕生日の前日まで）

対象疾患：16疾患群（756疾病）

表2－(6) 小児慢性特定疾病医療費助成受給者状況（各年3月31日現在）

(単位：件)

疾 患 名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	松 戸 市	流 山 市	我 孫 子 市
総 数		572	596	591	333	156	102
1	悪性新生物	73	76	71	38	22	11
2	慢性腎疾患	37	32	31	24	4	3
3	慢性呼吸器疾患	50	53	55	46	7	2
4	慢性心疾患	118	125	118	63	33	22
5	内分泌疾患	144	142	131	60	46	25
6	膠原病	19	18	19	6	5	8
7	糖尿病	22	26	25	9	7	9
8	先天性代謝異常	10	12	12	7	4	1
	血友病等血液・免疫疾患 (旧制度)	—					
9	血液疾患	20	19	20	9	9	2
10	免疫疾患	8	6	5	2	1	2
11	神経・筋疾患	41	45	52	38	9	5
12	慢性消化器疾患	25	33	39	24	6	9
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	3	7	9	4	2	3
14	皮膚疾患	2	2	2	2	—	—
*15	骨系統疾患			1	1	—	—
*16	脈管系疾患			1	—	1	—

*のついた15骨系統疾患16脈管系疾患は、平成30年4月からの新制度で拡充された疾患である。

(7) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（平成27年1月1日から施行）

児童福祉法第19条の22に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立支援を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、関係機関との連絡調整等を行う。

ア 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（研修会、講演会、交流会等）

表2－(7)－ア 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

名 称	開 催 年 月 日	参加人数・内訳	内 容
小児慢性特定疾病相互交流事業 (親子のつどい)	平成30年 5月25日	27人 対象者とその家族、医療関係者、行政関係者等	1. 発達を促す遊び 講師 千葉県千葉リハビリテーションセンター 保育士 小野 亮子氏 交流会
こどもフェスタ inとうかつ	平成30年 10月28日 開催中止		保健所管内にて感染症の集団発生により中止した。
支援者研修会	平成30年 12月14日	18人 保健師	・講演1 「慢性疾患児を抱える児への支援のポイント ～神経・筋疾患を中心に～」 講師 松戸市立総合医療センター 小児科医師 小橋 孝介氏 ・講演2 「「小児が利用できる障害福祉制度について」 講師 松戸市障害福祉課 小泉 直樹氏、高田 恵氏

イ 療育相談指導事業（療育指導連絡票に基づくもの）

表2－(7)－イ 療育相談指導内容

(単位：人)

内 容	平成29年度	平成30年度
相 談 者 数 (延)	4	4
家 庭 看 護 指 導	1	1
食 事 ・ 栄 養 指 導		
歯 科 保 健 指 導		
福 祉 制 度 の 紹 介	3	3
精 神 的 支 援		
内 容		
相 談 者 数 (延)		
そ の 他		

ウ 訪問指導事業（訪問相談員派遣を含む）

表2－（7）－ウ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位：件)

疾 患 名	平成 29 年度	平成30年度
総 数	44	25
悪性新生物	1	1
慢性呼吸器疾患	21	7
慢性心疾患	8	7
先天性代謝異常	2	3
内分泌疾患	1	1
神経・筋疾患	6	2
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	5	4

エ 窓口相談事業

表2－（7）－エ 相談内容 (単位：件)

内 容	平成 29 年度	平成 30 年度
相 談 者 数 (延)	635	607
申 請 等	33	60
医 療	28	22
家 庭 看 護	565	502
福 祉 制 度	5	19
就 労	0	0
就 学	3	3
食 事 ・ 栄 養	0	0
歯 科	0	0
そ の 他	1	1

オ 訪問相談員派遣事業

表2－（7）－オ 訪問相談員派遣事業実施状況

年度 \ 区分	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
平成 29 年度	2	2	2	2
平成 30 年度	2	3	3	3

(8) 療育医療制度

療育医療（児童福祉法第 21 条の 9）は、結核で長期療養を必要とする児童を指定医療機関に入院させて医療給付を行うほか、学用品・日用品の給付を行うものである。

平成 30 年度の申請者はなし。

(9) 思春期保健相談事業

臨床心理士・精神科医師による個別相談を実施するとともに、学校教諭向けに不登校や精神疾患を抱える児童生徒への支援について理解を深めることを目的に講演会を実施した。

表2－(9)－ア 思春期保健関係者会議実施状況

名 称	開 催 年 月 日	参加者	内 容

表2－(9)－イ 思春期保健事業講演会

名 称	開 催 年 月 日	参加者	内 容
思春期講演会	平成30年 8月1日	35人 管内小中高等学 校教諭、行政関係 者等	講演「思春期における発達障害 ～理解と具体的支援～」 講師 千葉県精神保健福祉センター 臨床検査課長 石川 真紀氏

表2－(9)－ウ 思春期保健相談

年 度	回 数	実 件 数	延 件 数	内 容
平成28年度	9	13	14	臨床心理士・精神科医師の面談による 個別相談
平成29年度	7	10	10	
平成30年度	10	20	20	

3 成人・老人保健事業

健康増進法による健康増進事業には、①健康手帳の交付②健康教育③健康相談④機能訓練⑤訪問指導⑥総合的な保健推進事業⑦歯周病疾患検診⑧骨粗しょう症検診⑨肝炎ウイルス検診⑩特定健康診査非対象者等に対する健康診査⑪特定健康診査非対象者に対する保健指導⑫がん検診があり、市が主体となり実施している。

(1) 介護サービス施設・事業所設置状況

管内には、介護老人保健施設が18施設ある。

ア 介護老人保健施設実地指導

千葉県老人保健施設実地指導要綱に基づき、5施設について実地指導を行った。

表3－(1)－ア 介護老人保健施設実地指導状況

実 施 年 月 日	介 護 老 人 保 健 施 設
平成30年7月24日	介護老人保健施設 我孫子ロイヤルケアセンター
平成30年8月28日	介護老人保健施設 栗ヶ沢デイホーム
平成30年9月11日	介護老人保健施設 千の星 松戸
平成30年10月30日	介護老人保健施設 シルバーケア松戸
平成30年11月27日	介護老人保健施設 シルバーケア常盤平

(2) がん検診推進員育成講習会

各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等（以下「推進員等」という。）に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を図っている。講習会については、松戸及び野田健康福祉センターの輪番で実施している。

表3－(2) がん検診推進員育成講習会

開催年月日	参加者数	内容
		※平成30年度は野田健康福祉センターにて実施

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

(1) 健康教育事業

節度ある適度な飲酒、危険な多量飲酒、アルコール依存症に陥るリスクについての知識を習得し、健康増進に繋げることを目的に、一般市民を対象とした講演会を開催した。

表4－(1) 健康教育事業

開催年月日	健康教室	参加人員
平成30年6月16日	平成30年度 健康・医療情報講座 講演「アルコール依存症の基礎知識～正しいお酒との付き合い方～」 講師 船橋北病院 月間 秀樹氏	25人

(2) 健康相談事業

身体的・精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象とし、保健師が電話相談に応じた。

表4－(2) 健康相談実施状況（電話） (単位：件)

年度	区分	男性	女性	総数
	平成28年度		26	48
平成29年度		32	59	91
平成30年度		97	108	205

5 総合的な自殺対策推進事業

平成28年4月に改正自殺対策基本法が施行となり、自殺対策計画策定が市町村へ義務付けられ、その計画策定支援のため、市町村の主催会議に委員として出席した。

また、身近な健康問題として自殺を捉えられるよう、啓発パンフレットを配布した。

表5 自殺予防普及啓発物資の配布状況

配付物	配布部数	配付者
「あなたのこころ元気ですか」	328部	管内市町村職員、精神科医療機関、
「誰でもゲートキーパー手帳」	60部	看護管理者、教育機関、居宅介護
「気づいてください！体と心の限界サイン」 (付箋)	232部	支援相談員等

6 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健の連携により、生活習慣病予防を中心とする各種保健事業の共同実施、地域保健関係施設等の相互活用等、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備を推進するため、「保健所圏域地域・職域連携推進協議会」を設置し連携を図っている。

平成 29 年度から「たばこ対策」をテーマとして取り組んでおり、「たばこをやめたい人への支援」「受動喫煙の防止」を主たるテーマとして、禁煙外来についての情報提供、啓発のための媒体作成や出張講座、受動喫煙に関するアンケートを実施し、地域保健と職域保健が連携した事業を展開した。

表 6－（1）松戸圏域地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
平成 30 年 11 月 15 日	18 名	議題 (1) 出張講座・禁煙外来受診者アンケートの実施報告 (2) 今後の事業内容について (3) 各機関のたばこ対策の取組み、評価方法・項目等について

表 6－（2）松戸圏域地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
平成 30 年 9 月 4 日	13 名	(1) 松戸圏域 地域・職域連携推進事業について (2) 平成 29 年度 地域・職域連携推進事業の実績について (3) 平成 30 年度 地域・職域連携推進事業の取組みについて

表 6－（3）共同事業開催状況

開催年月日	主な内容
[研修会] 平成 30 年 11 月 15 日	「受動喫煙が及ぼす健康への影響」 国立保健医療科学院 生活環境研究部 樺田 尚樹部長 出席者：35 名
[出張講座 PR] 平成 30 年 8 月 27 日	柏労働基準協会松戸・流山支部「全国労働衛生週間事前説明会」 出張講座 PR 63 事業所に対し周知
[出張講座] ① 平成 30 年 9 月 20 日 ② 平成 30 年 10 月 4 日 ③ 平成 30 年 12 月 18 日	「たばこが身体に及ぼす影響について、禁煙外来について、受動喫煙の防止について」 ① 流山市内事業所・58 名 ② 松戸市内事業所・20 名 ③ 我孫子市内高校（プレ職域世代）・725 名
[媒体作成]	<ul style="list-style-type: none"> ・「やめたいあなたを応援！」A4クリアファイル 5,000 部作成、4,580 部配布 ・「受動喫煙とは...？」リーフレット 3,000 部作成、配布
[禁煙外来受診者アンケートの実施]	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙外来実施医療機関の協力を得て実施、回収 8 名
[受動喫煙等に関するアンケートの実施]	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙等に関する内容について、協議会委員、作業部会委員の協力を得て実施 職域世代 1,715 件 プレ職域世代 1,560 件 回収

7 栄養改善事業

管内の健康・食生活上の課題に対応するため、個別栄養相談の他、健康づくりを推進する研修会を開催した。また、食環境整備として「健康ちば協力店」の支援・指導、食品事業者に対する栄養成分等の表示に関する指導等を実施した。

特定給食施設等に対しては、健康増進法に基づく栄養管理が実施されるよう研修会や個別巡回による指導・支援を行った。ここ数年、保育所の新規開設が増加していることから、研修会では保育所への支援を強化している。

(1) 健康増進（栄養・運動等）事業

個別指導は、来所や電話による栄養相談において実施した。また、集団指導は、住民及び関係者を対象とした講習会・研修会を開催し、正しい知識の普及・啓発に努めた。

表7－（1）健康増進（栄養・運動等）指導状況

（単位：人）

		個別指導延人員								集団指導延人員						
		栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	(再掲)訪問による栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他	栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他
実施数	妊産婦	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳幼児	3	-	-	/	/	/	/	-	-	-	/	/	/	/	-
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	725	-
	20歳以上 (妊産婦を除く)	85	21	-	-	-	-	6	-	46	-	-	-	-	711	-
(再掲)医療機関等へ委託	妊産婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳幼児	-	-	-	/	/	/	/	-	-	-	/	/	/	/	-
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳以上 (妊産婦を除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

参照（地域保健・健康増進事業報告作成要領）

ア 病態別個別指導

表7- (1) -ア 病態別個別指導状況 (単位：人)

種別	区分	計	生活習慣病	難病	アレルギー疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導		21	9	2	-	-	12
病態別運動指導		-	-	-	-	-	-

※生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・高脂血症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表7- (1) -イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
胃痩食のレシピ	平成30年 10月23日	医療的ケア児及び その家族	-	実施予定であったが麻しん蔓延の影響により中止

ウ 地域における健康づくり推進事業

表7- (1) -ウ 地域における健康づくり推進実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
減塩スキルアップ 研修会	平成31年 2月6日	飲食店、事業所給食 施設、食生活改善推 進員等	46	講演「野菜をおいしく食べる減塩調理法」 講師 聖徳大学人間栄養学部 人間栄養学科 小川聖子准教授

エ 国民（県民）健康・栄養調査

表7- (1) -エ 国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日	調査内容等
国民健康・栄養調査	松戸市栄町地区	11月6日及び7日	身体の状況、栄養摂取量 及び生活習慣の状況
	流山市向小金地区	11月12日及び13日	身体の状況、栄養摂取量 及び生活習慣の状況

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表7- (1) -オ- (ア) 食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談 (個別)		普及啓発 (集団)		
		実相談食品数	延相談件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
食品表示基準に ついて (保健事項)	栄養成分	48	54	1	25	講話
	特定保健用食品	-	-	-	-	
	栄養機能食品	-	-	-	-	
	機能性表示食品	-	-	-	-	
	その他※	-	-	-	-	
健康増進法第31条第1項 (虚偽誇大広告)		7	9	-	-	
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-	-	-	-	
		県民への相談対応・普及啓発				
		相談 (個別)		普及啓発 (集団)		
		延相談件数		回数	延対象者数	内容 (講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について		- (-)		- (-)	- (-)	-
食品表示基準に ついて (保健事項)	栄養成分	-		-	-	-
	特定保健用食品	-		-	-	-
	栄養機能食品	-		-	-	-
	機能性表示食品	-		-	-	-
	その他※	-		-	-	-
健康増進法第31条第1項 (虚偽誇大広告)		-		-	-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-		-	-	-

() 内は、特定保健用食品再掲

※ 栄養成分以外の内容だった場合(特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く)

表7- (1) -オ- (イ) 食品表示等に関する指導状況 (表示違反への対応)

		指導状況 (個別)	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準について (保健事項)	栄養成分※	2 (-)	2 (-)
	機能性表示食品	-	-
	その他	-	-
健康増進法第31条第1項 (虚偽誇大広告)		-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-	-

※ 栄養機能食品、特定保健用食品を含む () 内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(ウ) 特別用途食品許可取り扱い件数(単位:件)

内 容	取扱件数
新規許可申請受付	- (-)
消滅事由該当届出数	- (-)
申請・表示事項変更届出数	- (-)

() 内は、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(エ) 特別用途食品に対する検査・指導件数(単位:件)

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
- (-)	- (-)	- (-)

() 内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表7－(1)－カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個 別		集団指導		
内容	延人員	内容	延回数	延参加者数
-	-	壮年期の食育	7	598

イ 給食施設個別巡回指導

表7-(2)-イ 給食施設個別巡回指導状況

	総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況								
			管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみ いる施設		どちらもいない 施設		
			施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	
合計	386	142	103	27	87	44	137	39	59	32	
計	計	386	142	103	27	87	44	137	39	59	32
	学校	119	33	60	11			54	18	5	4
	病院	30	29	3	3	27	26			1	
	介護老人保健施設	18	5	4	1	13	4				
	老人福祉施設	40	7	13	4	23	3	4			
	児童福祉施設	128	37	14	3	21	9	63	12	30	13
	社会福祉施設	6	3	1	1			2	1	3	1
	事業所	14	14	2	2	2	2	3	3	7	7
	寄宿舎	4	4							4	4
	矯正施設	1								1	
	自衛隊	1		1							
	一般給食センター										
その他	25	10	5	2	1		11	5	8		
300食 /回, 750食 /日以上 ①	計	123	41	57	12	3	2	52	17	3	2
	学校	109	29	54	10						
	病院	7	7			1	1				
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設	1				1					
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所	5	5	2	2	1	1	1	1	1	1
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊	1		1							
	一般給食センター										
その他											
100食 /回, 250食 /日以上 ① (を除く)	計	202	73	35	10	64	26	61	14	42	23
	学校	10	4	6	1			2	1	2	2
	病院	15	15	2	2	13	13				
	介護老人保健施設	16	4	4	1	12	3				
	老人福祉施設	32	7	11	4	19	3	2			
	児童福祉施設	105	29	10	2	18	6	49	9	28	12
	社会福祉施設	2	1					2	1		
	事業所	9	9			1	1	2	2	6	6
	寄宿舎	3	3							3	3
	矯正施設	1								1	
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他	9	1	2		1		4	1	2		
その 他の 給食 施設	計	61	28	11	5	14	10				
	学校										
	病院	8	7	1	1	7	6			1	
	介護老人保健施設	2	1			1	1				
	老人福祉施設	7		2		3		2			
	児童福祉施設	23	8	4	1	3	3	14	3	2	1
	社会福祉施設	4	2	1	1					3	1
	事業所										
	寄宿舎	1	1							1	1
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
その他	16	9	3	2			7	4	6	3	

※施設に出向き個別指導した件数。

※管理栄養士・栄養士配置の記入については、「衛生行政報告例記入要領」に準じて計上。

ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表7-（2）-ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導（単位：件）

	給食施設開始（再開）	給食施設廃止（休止）	給食施設変更届
届出数	19	8	51
指導数	27	2	22

エ 給食施設集団指導

表7-（2）-エ 給食施設集団指導状況

名称	開催年月日	対象者	参加者数	内容
給食施設 衛生研修会	平成30年 6月13日	給食施設の 管理者・従事者	190	講義1「給食従事者の健康管理について」 講師 松戸健康福祉センター 疾病対策課長 講義2「給食施設の衛生管理」 講師 松戸健康福祉センター 食品機能監視課 食品衛生監視員 情報提供1「管内給食施設の栄養管理の状況について」 説明者 松戸健康福祉センター 栄養指導員 情報提供2「健康ちば21（第二次）中間評価結果について」 説明者 松戸健康福祉センター 栄養指導員
給食施設 栄養士研修会	平成30年 8月9日	保育所給食施設 の栄養士	50	講話「給食管理の基本と帳票管理」 講師 松戸健康福祉センター 栄養指導員 事例提供1「給食における食物アレルギー対応について」 事例提供者 流山市子ども家庭部 保育課 山添裕子氏 事例提供2「食育の実施と多職種連携について」 事例提供者 我孫子市立寿保育園 滋野裕子氏 グループ討議
給食施設の災害 時対応研修会	平成31年 3月5日	給食施設の 管理者・従事者	205	講演「給食施設における災害時対応」 講師 日本栄養士会 常務理事 下浦佳之氏 説明「千葉県災害時における保健活動ガイドラインについて」 説明者 健康づくり支援課食と歯・口腔健康班 高橋希主査 報告「給食施設非常災害時セルフチェックの集計結果」 報告者 松戸健康福祉センター 栄養指導員 展示「非常時用備蓄食品サンプル等」

(3) 健康ちば協力店推進事業

表7- (3) -ア 健康ちば協力店登録状況

30年度登録件数			累計状況	
登録件数	変更件数	取消件数	登録累計数	実登録店舗数
0	0	0	92 (内取消36)	56

表7- (3) -イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区 分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回 数	延人員	回 数	延店舗数	延人員	回 数	延人員
個別指導	-	-	-	-	-	-	-
集団指導	-	-	1	3	3	-	-
合 計	-	-	1	3	3	-	-

(4) 栄養関係団体等への育成・支援

表7- (4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名 称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人員
松戸保健所管内 松戸調理師会	350 人	調理師の資質の向上と調理技術の研究開発を行い、公衆衛生の向上を図る事業	理事会、総会の運営助言、地域まつりにおける普及啓発活動の支援	61 人
松戸保健所管内 集団給食協議会	41 施設	給食運営に関する調査研究に関する事業、栄養・調理技術に関する知識の普及啓発事業等	理事会、総会の運営助言、研修会の共催、地域まつりにおける栄養相談事業の支援	55 人

(5) 市町村への技術・助言支援等

表7- (5) -ア 市町村への技術支援、助言

名 称	開催月日	対象者	参加者数	内 容
松戸市食生活改善推進員総会	平成30年 4月12日	松戸市食生活 改善推進員	33	活動への助 言
我孫子市内公立私立保育園給食懇談会	平成30年 12月12日	我孫子市内公立 私立保育園 給食担当者	24	災害時対応 についての 講話

表7- (5) -イ 管内行政栄養士研究会等の開催状況

名 称	延回数	延参加人員	主な内容
管内栄養士業務連絡研修会	1	24	(1)業務検討(健康ちば21(第二次)中間評 価の結果について、災害時対策について) (2)情報交換

※ 市町村(在宅)栄養士研修会を含む

(6) 調理師試験及び免許関係

表7- (6) 調理師試験及び免許取扱状況 (単位:名)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
平成28年度	153	99	64.7	204	33	38
平成29年度	131	91	69.5	213	37	37
平成30年度	149	93	62.4	213	34	42

(7) その他(各保健所の独自事業)

表7- (7) その他の事業の実施状況

名 称	延回数	延参加人員	主な内容
学生実習	5	9	講義、演習、事業見学

8 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（以下、精神保健福祉法）に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられおり、法律に基づく入院事務等の業務と併せ精神保健福祉相談員や保健師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

（１）管内精神科病院と入院等の状況

精神科病院は1施設（病床数308床）、人口万対病床数は3.8で県全体に比べ少ない。管内病院への入院率は46.5%であり、管外・圏外病院への入院率の方が高い。

表8－（１）－ア 管内病床数・入院患者の状況（平成30年6月30日現在）

（単位：件）

年度 市町村	区分 管 内 人 口	精 神 科 病 院 数	病 床 数	人 口 万 対 病 床 数	入 県 内 病 院 患 者 へ の 数 の	人 口 万 対 入 院 患 者 数	管内の患者の入院先(再掲)					
							圏内(※)の病院への入院患者数				圏外の病院への入院患者数	
							管内病院		管外病院			
							数	%	数	%	数	%
平成28年度	795,736	1	308	3.9	788	9.9	390	49.5	79	10.0	319	40.5
平成29年度	802,058	1	308	3.8	836	10.4	124	14.8	362	43.3	350	41.9
平成30年度	809,796	1	308	3.8	913	11.3	425	46.5	78	8.5	410	44.9
松戸市	490,442	1	308	6.3	583	11.9	238	40.8	20	3.4	325	55.7
流山市	188,322	0	0	0.0	162	8.6	88	54.3	49	30.2	25	15.4
我孫子市	131,032	0	0	0.0	168	12.8	99	58.9	9	5.4	60	35.7
県全体	6,270,226	52	12,397	19.8	8,878	14.2	5,960	67.1	589	6.6	2,329	26.2

（注） 1 人口は、各年7月1日現在。（千葉県毎月常住人口調査による）

※ 圏内：東葛北部保健医療圏

表8－（1）－イ 管内病院からの届出等の状況

（単位：件）

種別 年度	医療保護 入院届 (保護者の 同意)	医療保護 入院届 (扶養義務 者の同意)	応 急 入院届	医療保護 入院届の 退院届	措置症状 消退届	措置入院 定期病状 報告書	医療保護 入院定期 病状報告	その他
平成28年度	114		—	108	8	4	53	0
平成29年度	147		—	125	16	8	61	0
平成30年度	151			139	16	9	71	2

※ 1 その他は、転院許可申請 2 件、仮退院申請 0 件、再入院届 0 件の合計

2 平成 26 年度より保護者制度廃止に伴い、「医療保護入院届(保護者の同意)」の保護者を家族等(扶養義務者含む)に読み替え件数を計上している。

(2) 措置入院関係

精神保健福祉法第 22 条から第 26 条に基づいた申請・通報を受理し、措置診察の必要性を判断する為の事前調査を保健所で行っている。措置診察が必要と判断された者については、同法第 27 条及び第 29 条の 2 の規定に基づいて、指定医による診察を行い、措置入院及び緊急措置入院の要否が判断される。措置入院及び緊急措置入院が必要とされた者に対して、同法第 29 条の 2 の 2 にて移送を行っている。

表8－（2）－ア 申請・通報・届出及び移送処理状況

（単位：件）

申請通報等の別 処 理	申請・通報 届出件数	診察の必要 がないと認 めた者	法第27条の診察を受けた者			法第29条の2の診察を受けた者			法第29条の2の2の 移送業務		
			法第29条 該当症状 の者	その他の 入院形態	通院・ その他	法第29条 の2該当症 状の者	その他の 入院形態	通院・ その他	1次 移送	2次 移送	3次 移送
平成28年度	542	456	73	1	14	15	0	7	0	1	44
平成29年度	444	343	85	2	7	26	0	4	0	2	46
平成30年度	326	246	61	3	11	20	1	4	0	0	36
法第22条 一般人からの申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第23条 警察官からの通報	281	216	50	2	8	18	1	4	0	0	35
法第24条 検察官からの通報	17	4	9	1	3	0	0	0	0	0	1
法第25条 保護観察所の長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条 矯正施設の長からの通報	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の2 精神科病院管理者からの届出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医療 機関管理者及び保護観察所長 からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0

※1 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

2 「法第 29 条の 2 該当症状の者」は、法第 27 条の診察を受けた者の内数

3 1 次・2 次移送は、診察までの移送、3 次は措置決定後の病院までの移送

表8－(2)－イ 措置診察を受けた対象者の病名

(単位：件)

年度 結 果	病 名	総 数	統 合 失 調 症 等	気 分 障 害	器質性 精神障害		中毒性 精神障害			神 経 症 性 障 害 等	パ ー ソ ナ リ テ ィ 障 害	知 的 障 害	て ん か ん	そ の 他 の 精 神 障 害	そ の 他
					認 知 症	そ の 他	ア ル コ ー ル	覚 せ い 剤	そ の 他						
					F0		F1								
					F2	F3	F00 ～ F03	F04 ～ F09	F10						
平成28年度		110	66	9	4	1	3	3	5	5	8	4	0	0	2
平成29年度		101	71	12	2	2	1	1	2	3	3	1	0	1	2
平成30年度		80	47	12	2	1	1	2	2	5	4	1	0	0	3
診察 実施	要 措 置	61	45	9	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	1
	不要措置	14	2	1	1	0	0	0	0	5	2	1	0	0	2
緊急措置診察実施 不要措置		5	0	2	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0

※1 その他には病名不詳を含む。

2 F0～F9、G40は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICD カテゴリー）の分類。

表8－(2)－ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数（各年3月31日現在）

(単位：人)

入院期間 年度	総 数	6カ月未満	6カ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
平成28年度	6	5	0	0	1
平成29年度	6	3	1	0	2
平成30年度	6	4	1	0	1

表8－(2)－エ 申請・通報・届出関係の相談等（各年3月31日現在）（単位：人）

性・年齢 区分	実 数	性			年 齢					延 回 数
		男	女	不 明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上	不 明	
相談	5	3	2	0	0	4	1	0	0	14
訪問	73	40	33	0	1	29	33	10	0	173
電話	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,395

※電話相談の実数は計上していない。

(3) 医療保護入院のための移送（法34条）

精神障害者であり、かつ、直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図る上で著しく支障があり、精神保健福祉法第20条の規定による入院が行われる状態でないと、指定医による診察で判断された者を医療保護入院させるために、精神科病院に移送することができる。

表8－(3) 医療保護入院のための移送処理状況（単位：件）

年度	区分	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
平成28年度		0	0	0
平成29年度		0	0	0
平成30年度		0	0	0

(4) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神科嘱託医による定例相談のほか、精神保健相談員や保健師による所内外の面接相談および電話相談に随時応じている。相談内容については、診療に関することや生活支援、社会復帰からアルコール、認知症と保健、医療、福祉と広範にわたる。また、必要に応じて訪問指導も行っている。

表8－(4)－ア 精神科嘱託医による定例相談

実施日	時間	場所
毎月 第1 木曜日	14：00～16：00	健康福祉センター（保健所）
毎月 第3 月曜日	14：00～16：00	健康福祉センター（保健所）
毎月 第3 木曜日	14：00～16：30	健康福祉センター（保健所）
毎月 不定期	不定期	事例により相談又は訪問を実施

表8－(4)－イ 対象者の性・年齢

(単位：人)

区分	性・年齢 実数	性			年 齢					延回数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
平成28年度	410	209	200	1	11	119	216	58	6	1,240
平成29年度	334	206	128	0	5	95	175	54	5	1,248
平成30年度	308	177	131	0	7	95	154	48	4	846
松戸市	194	122	72	0	6	58	97	29	4	560
流山市	49	23	26	0	0	11	27	11	0	99
我孫子市	30	14	16	0	1	11	14	4	0	96
管外・不明	35	18	17	0	0	15	16	4	0	91
相談	149	82	67	0	4	42	76	23	4	305
訪問	159	95	64	0	3	53	78	25	0	541

※1 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数は5回となる。

2 電話相談は計上していない。

表8－(4)－ウ 電話・メール相談延件数

(単位：件)

区分	計	男性	女性	不明
電話	7521	4,148	3,344	29
メール	14	2	12	0

表8- (4) -エ 相談の種別 (延数)

(単位: 件)

種別 区分	総数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談	
		関診する療科	社会復帰等	生活支援	その他の相談	アルコール	覚せい剤	その他の中毒								
平成28年度	1240	591	97	221	76	34	14	10	1	0	37	14	132	0	13	
平成29年度	1248	475	49	109	355	46	7	9	0	2	33	7	153	0	3	
平成30年度	846	352	100	156	92	28	2	4	0	3	22	6	68	1	12	
相談	計	332	114	26	64	45	24	0	1	0	2	15	2	28	0	11
	男	192	62	19	37	27	19	0	1	0	0	11	0	9	0	7
	女	140	52	7	27	18	5	0	0	0	2	4	2	19	0	4
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	計	514	238	74	92	47	4	2	3	0	1	7	4	40	1	1
	男	342	144	46	77	32	4	1	2	0	0	5	4	25	1	1
	女	172	94	28	15	15	0	1	1	0	1	2	0	15	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表8- (4) -オ 援助の内容 (延数)

(単位: 件)

種別 年度	総数	医学的指導	受療援助	生活生活指導支援	社会復帰援助	紹介・連絡	関係機関調整	その他
平成28年度	2,211	69	496	363	107	332	681	163
平成29年度	2,335	75	576	304	91	365	811	113
平成30年度	1,553	49	348	204	119	229	471	133

(注) 援助内容は重複あり

表8－(4)－カ 精神障害者の退院後支援相談対応件数

	支援計画			
	対象者	本人同意あり	会議開催数	計画に基づく支援者
合計	1	1	1	1
松戸市	0	0	0	0
流山市	1	1	1	1
我孫子市	0	0	0	0

(5) 地域精神保健福祉関係

地域の精神保健福祉を円滑に促進するために、管内精神保健担当者会議及び管内精神保健福祉業務従事者研修会を行った。また、地域家族会の育成・支援を行っており、家族会総会に出席し、安定した家族会の運営、アドバイス等の育成支援を行った。

断酒会については、概ね自主活動が定着しつつあり、保健所はパンフレットの配架等の支援を行った。

表8－(5)－ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	開催日	参加人数	対象者等
管内精神保健担当者会議	平成30年10月31日 平成31年3月13日	26人	管内市及び柏市 精神保健福祉担当
管内精神保健福祉業務従事者研修会	平成30年11月21日	66人	管内精神保健福祉業務従事者

表8－(5)－イ 家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等の名称	開催日	受講者数		内 容
		実人数	延人数	
こころの家族教室 「統合失調症の理解と対応」	平成30年 12月5日	20	40	講演「統合失調症の理解と対応」 講師 千葉県精神保健福祉センター 石川 真紀 氏
	平成30年 12月20日	20		講演「地域で”暮らす”を考える」 講師 松戸市基幹相談支援センターCOCO 桑田 久嗣 氏 障害者相談支援事業ふれあい相談室 和泉 康子 氏

表8－(5)－ウ 組織育成

(単位：件)

種別 区分	総 数	家族会	断酒会	その他 (当事者グループ)
支援延件数	12	4	6	2

※1 その他2件は、患者会のイベント後援。

(6) 心神喪失者等医療観察法関係

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の対象者に対し、保護観察所主催の処遇検討会議に参加し、地域において訪問等の支援を実施している。平成17年から医療観察法が施行されたことに伴い、健康福祉センター(保健所)においても各種会議への参加等が求められている。

表8－(6) 医療観察法に係る会議への参加

(単位：件)

会議種別	CPA会議	ケア会議	その他
参加回数	12	15	3

(7) その他

地域生活支援センターや権利擁護事業等の運営委員会の委員として会議に出席の形で運営に参加。また、要請に応じて包括支援センター等他機関主催の連絡会や研修等の講師としての協力、及び事例検討会議や個別支援会議への出席等を通じて関係機関との連携と精神保健福祉に関する普及啓発に努めている。

表8－(7) その他

名称	回数	主な内容
日常生活自立支援事業処遇等検討委員会	3	事業報告、事例検討
西深井地域生活支援センターすみれ運営委員会	1	事業報告等

9 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療、平成23年度からインターフェロン3剤併用療法への医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。

表9－(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療 核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロンフ リー
平成28年	348	3	207
平成29年	353	1	133
平成30年	373	2	114
松戸市	204	-	79
流山市	103	2	25
我孫子市	66	-	10

10 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B型・C型ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的として平成30年12月から助成が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。

表10－(1) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療 肝がん	重度肝硬変	総数
平成30年	-	-	-
松戸市	-	-	-
流山市	-	-	-
我孫子市	-	-	-

11 難病対策事業

原因不明で治療方法が確立していない特定疾患56疾患の患者に対し、医療費の自己負担を助成していたが、「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法)に基づく医療費助成制度が平成27年1月1日に施行された。それに伴い対象疾患は110疾患に拡充され、さらに同年7月1日には、306疾患に拡大した。平成29年4月1日には330疾患、平成30年4月1日には331疾患に拡大した。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表 1 1 - (1) 特定疾患治療研究費受給者状況

(単位：件)

年度・市町村別 疾患名 下段：重症(内数)	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	松 戸 市	流 山 市	我 孫 子 市
総 数	4	4	4	2	1	1
スモン	4 -	4 -	4 -	2 -	1 -	1 -

表 1 1 - (2) 指定難病医療費助成制度受給者状況 (単位 : 件)

年 度・市 別 疾 患 名 下段 : 重症 (内数)		平成	平成	平成	松	流	我
		28 年 度	29 年 度	30 年 度	戸 市	山 市	孫 子 市
総 数		5,836	5,361	5,476	3,233	1,235	1,008
1	球脊髄性筋萎縮症	8	9	13	7	4	2
		3	-	-	-	-	-
2	筋萎縮性側索硬化症	66	68	65	37	16	12
		31	-	-	-	-	-
3	脊髄性筋萎縮症	3	3	4	3	1	-
		3	-	-	-	-	-
4	原発性側索硬化症	1	2	2	2	-	-
		-	-	-	-	-	-
5	進行性核上性麻痺	41	55	62	23	12	27
		8	-	-	-	-	-
6	パーキンソン病	770	806	794	461	183	150
		100	-	-	-	-	-
7	大脳皮質基底核変性症	25	26	32	23	3	6
		8	-	-	-	-	-
8	ハンチントン病	7	6	8	4	1	3
		1	-	-	-	-	-
10	シャルコー・マリー・トゥース病	2	2	3	1	1	1
		-	-	-	-	-	-
11	重症筋無力症	143	140	151	74	50	27
		1	-	-	-	-	-
13	多発性硬化症 / 視神経脊髄炎	123	113	115	70	29	16
		31	-	-	-	-	-
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 / 多 巣性運動ニューロパチー	20	16	15	8	4	3
		5	-	-	-	-	-
15	封入体筋炎	2	2	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
16	クロウ・深瀬症候群	-	-	2	1	-	1
		-	-	-	-	-	-
17	多系統萎縮症	65	66	69	38	17	14
		21	-	-	-	-	-
18	脊髄小脳変性症 (多系統萎縮症を 除く。)	159	163	172	110	34	28
		56	-	-	-	-	-
19	ライソゾーム病	4	4	4	2	1	1
		1	-	-	-	-	-
20	副腎白質ジストロフィー	3	3	3	3	-	-
		-	-	-	-	-	-
21	ミトコンドリア病	12	11	11	6	4	1
		2	-	-	-	-	-
22	もやもや病	83	53	58	30	18	10
		6	-	-	-	-	-
23	プリオン病	-	1	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
24	亜急性硬化性全脳炎	1	1	-	-	-	-

		1	-	-	-	-	-
25	進行性多巣性白質脳症	-	-	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
26	HTLV-1 関連脊髄症	3	3	3	3	-	-
		-	-	-	-	-	-
27	特発性基底核石灰化症	-	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
28	全身性アミロイドーシス	16	14	17	8	4	5
		2	-	-	-	-	-
30	遠位型ミオパチー	1	1	2	1	-	1
		-	-	-	-	-	-
34	神経線維腫症	17	20	19	12	3	4
		1	-	-	-	-	-
35	天疱瘡	29	11	11	5	4	2
		-	-	-	-	-	-
36	表皮水泡症	-	-	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
37	膿疱性乾癬（汎発型）	8	7	7	5	2	-
		-	-	-	-	-	-
38	スティーヴンス・ジョンソン 症候群	-	-	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
39	中毒性表皮壊死症	-	1	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
40	高安動脈炎	46	30	28	17	7	4
		6	-	-	-	-	-
41	巨細胞性動脈炎	-	3	4	3	-	1
		-	-	-	-	-	-
42	結節性多発動脈炎	25	19	19	9	6	4
		1	-	-	-	-	-
43	顕微鏡的多発血管炎	60	64	55	36	9	10
		4	-	-	-	-	-
44	多発血管炎性肉芽腫症	23	23	25	22	-	3
		3	-	-	-	-	-
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	11	16	20	8	9	3
		-	-	-	-	-	-
46	悪性関節リウマチ	36	32	32	22	4	6
		15	-	-	-	-	-
47	バージャー病	19	11	10	7	2	1
		-	-	-	-	-	-
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	1	2	2	-	-
		-	-	-	-	-	-
49	全身性エリテマトーデス	418	398	395	239	79	77
		21	-	-	-	-	-
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	148	147	150	95	29	26
		2	-	-	-	-	-
51	全身性強皮症	173	157	163	92	35	36
		6	-	-	-	-	-
52	混合性結合組織病	52	47	47	27	11	9
		-	-	-	-	-	-
53	シェーグレン症候群	31	42	47	26	10	11

		-	-	-	-	-	-
54	成人スチル病	11	10	17	11	3	3
		-	-	-	-	-	-
55	再発性多発軟骨炎	1	1	2	2	-	-
		-	-	-	-	-	-
56	ベーチェット病	108	105	88	58	15	15
		8	-	-	-	-	-
57	特発性拡張型心筋症	131	105	99	72	12	15
		17	-	-	-	-	-
58	肥大型心筋症	22	27	23	11	9	3
		6	-	-	-	-	-
59	拘束型心筋症	1	1	1	1	-	-
		1	-	-	-	-	-
60	再生不良性貧血	51	37	38	21	6	11
		-	-	-	-	-	-
61	自己免疫性溶血性貧血	5	9	6	1	3	2
		-	-	-	-	-	-
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4	5	5	2	1	2
		-	-	-	-	-	-
63	特発性血小板減少性紫斑病	149	110	110	65	23	22
		1	-	-	-	-	-
65	原発性免疫不全症候群	11	9	9	5	3	1
		-	-	-	-	-	-
66	IgA 腎症	38	45	54	34	14	6
		-	-	-	-	-	-
67	多発性嚢胞腎	46	56	67	42	14	11
		-	-	-	-	-	-
68	黄色靱帯骨化症	22	15	13	10	2	1
		6	-	-	-	-	-
69	後縦靱帯骨化症	173	161	163	107	35	21
		25	-	-	-	-	-
70	広範脊柱管狭窄症	39	35	38	29	6	3
		8	-	-	-	-	-
71	特発性大腿骨頭壊死症	98	106	110	73	31	6
		3	-	-	-	-	-
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	6	6	9	5	1	3
		-	-	-	-	-	-
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	11	7	10	7	2	1
		-	-	-	-	-	-
75	クッシング病	4	4	5	3	-	2
		-	-	-	-	-	-
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2	2	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	26	24	21	10	2	9
		-	-	-	-	-	-
78	下垂体前葉機能低下症	97	93	95	55	23	17
		1	-	-	-	-	-
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	1	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1	1	2	-	2	-

		-	-	-	-	-	-
84	サルコイドーシス	112	75	84	52	19	13
		12	-	-	-	-	-
85	特発性間質性肺炎	88	92	97	43	29	25
		-	-	-	-	-	-
86	肺動脈性肺高血圧症	9	10	10	4	4	2
		2	-	-	-	-	-
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	17	20	22	9	6	7
		-	-	-	-	-	-
89	リンパ脈管筋腫症	4	3	3	1	-	2
		-	-	-	-	-	-
90	網膜色素変性症	169	191	186	118	36	32
		82	-	-	-	-	-
91	バッド・キアリ症候群	2	1	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
92	特発性門脈圧亢進症	2	1	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
93	原発性胆汁性胆管炎	176	133	124	61	30	33
		2	-	-	-	-	-
94	原発性硬化性胆管炎	1	1	4	1	-	3
		-	-	-	-	-	-
95	自己免疫性肝炎	16	20	25	11	8	6
		-	-	-	-	-	-
96	クローン病	252	237	237	142	46	49
		7	-	-	-	-	-
97	潰瘍性大腸炎	1,142	836	800	460	203	137
		-	-	-	-	-	-
98	好酸球性消化管疾患	3	5	3	1	1	1
		-	-	-	-	-	-
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	-	1	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
106	クリオピリン関連周期熱症候群	2	1	2	2	-	-
		-	-	-	-	-	-
107	若年性特発性関節炎	-	-	5	3	2	-
		-	-	-	-	-	-
109	非典型型溶血性尿毒症症候群	3	3	3	1	2	-
		-	-	-	-	-	-
111	先天性ミオパチー	1	1	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
113	筋ジストロフィー	8	14	24	15	6	3
		-	-	-	-	-	-
115	遺伝性周期性四肢麻痺	-	-	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-
117	脊髄空洞症	2	3	3	3	-	-
		-	-	-	-	-	-
118	脊髄髄膜瘤	-	-	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
127	前頭側頭葉変性症	3	7	9	7	2	-
		-	-	-	-	-	-
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	-	-	1	1	-	-

144	レノックス・ガストー症候群	-	-	-	-	-	-
145	ウエスト症候群	2	2	2	2	-	-
150	環状 20 番染色体症候群	1	1	-	-	-	-
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	-	-	1	1	-	-
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	2	1	-	-	1
158	結節性硬化症	4	4	4	2	1	1
160	先天性魚鱗癬	1	1	1	-	1	-
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	11	7	9	5	2	2
163	特発性後天性全身性無汗症	-	-	1	-	-	1
167	マルファン症候群	-	-	1	1	-	-
168	エーラス・ダンロス症候群	1	1	2	1	1	-
171	ウィルソン病	5	4	4	3	-	1
190	鰓耳腎症候群	-	-	1	-	-	1
191	ウェルナー症候群	-	1	-	-	-	-
193	ブラダー・ウィリ症候群	1	1	1	1	-	-
195	ヌーナン症候群	1	1	1	1	-	-
208	修正大血管転位症	-	1	-	-	-	-
209	完全大血管転位症	-	-	1	-	-	1
210	単心室症	-	1	2	1	1	-
212	三尖弁閉鎖症	-	1	1	1	-	-
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	-	1	1	-	1	-
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	1	3	1	1	1
215	ファロー四徴症	2	2	4	2	-	2
216	両大血管右室起始症	-	-	1	-	1	-
217	エプスタイン病	1	1	1	1	-	-

		-	-	-	-	-	-
220	急速進行性糸球体腎炎	2	2	3	1	-	2
		-	-	-	-	-	-
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	1	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-
222	一次性ネフローゼ症候群	32	55	68	46	13	9
		-	-	-	-	-	-
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	-	1	2	1	1	-
		-	-	-	-	-	-
224	紫斑病性腎炎	1	2	4	2	1	1
		-	-	-	-	-	-
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	-	2	3	3	-	-
		-	-	-	-	-	-
227	オスラー病	4	2	4	3	1	-
		-	-	-	-	-	-
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
235	副甲状腺機能低下症	-	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	1	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-
254	ポルフィリン症	2	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
256	筋型糖原病	1	1	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
257	肝型糖原病	1	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
271	強直性脊椎炎	9	8	7	6	1	-
		1	-	-	-	-	-
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	-	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
283	後天性赤芽球癆	1	1	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-
289	クローンカイト・カナダ症候群	1	1	3	1	1	1
		-	-	-	-	-	-
300	I g G 4 関連疾患	7	12	13	9	2	2
		-	-	-	-	-	-
302	レーベル遺伝性視神経症	-	1	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
305	遅発性内リンパ水腫	1	1	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
306	好酸球性副鼻腔炎	8	14	29	20	5	4
		-	-	-	-	-	-
316	カルニチン回路異常症	-	1	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
326	大理石骨病	-	1	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
329	無虹彩症	-	-	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-
331	特発性多中心性キャッスルマン病	-	-	6	2	3	1

		-	-	-	-	-	-
--	--	---	---	---	---	---	---

※下段は旧制度（平成 29 年 12 月 31 日まで）による重症認定者数。

※受給者なしの疾患は省略。

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表 1 2 - (3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況 (単位: 人)

年度	総数	松戸市	流山市	我孫子市
平成 28 年	23	17	4	2
平成 29 年	23	17	4	2
平成 30 年	24	17	5	2

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表 1 1 - (4) - ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況 (単位: 人)

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専門医	家庭医	看護師	理学療法士	保健師	その他
平成 28 年度	13	13	4	6	38	0	43	92
平成 29 年度	7	7	3	3	28	0	19	28
平成 30 年度	9	9	1	4	25	1	16	59

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表 1 1 - (4) - イ - (ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
平成 28 年度	8	47	32	47
平成 29 年度	11	50	25	50
平成 30 年度	9	42	26	42

(イ) 訪問相談員育成事業

表 1 1 - (4) - イ - (イ) 訪問相談員育成事業実施状況

区分 年度	月 日	主 な 内 容	職 種	人 数
平成 28 年度	平成 28 年 4 月 25 日	平成 27 年度訪問実績・平成 28 年度訪問計画・事例共有	看護師	7

	平成28年 10月17日	講演「東日本大震災からの経験より」 講演「災害時に利用者、職員、地域住民を守る事業継続 計画（BCP）」 演習（グループワーク）	看護師	3
	平成28年12 月2日	講演「事業継続計画（BCP）の点検とレベルアップ」 演習（グループワーク）	看護師	2
	平成29年 2月20日	平成28年度の訪問実績、訪問相談員ができる災害対策 について、訪問事例共有	看護師	5
平成 29年度	平成29年 4月24日	平成28年度訪問実績・平成29年度訪問計画・事例共有	看護師	8
	平成29年10 月23日	講演「障害福祉制度について」 神経難病患者の事例検討	看護師 管理栄養 士	3
	平成30年 2月23日	平成29年度の訪問実績、事例検討、事例共有	保健師 看護師 管理栄養 士	7
	平成30年 3月8日	講演「在宅人工呼吸器（侵襲的陽圧換気）と災害対策」	看護師	3
	平成30年 3月12日	講演「在宅人工呼吸器（非侵襲的陽圧換気）と災害対策」	看護師	2
平成30 年度	平成30年 4月27日	平成29年度訪問実績・平成30年度訪問計画・事例共有	保健師 看護師 管理栄養 士	7
	平成30年 10月23日	講演「筋萎縮性側索硬化症の基礎知識—胃瘻や人工呼吸 の意思決定を含めて—」	看護師	1
	平成31年 2月22日	平成30年度の訪問実績、事例検討、事例共有	保健師 看護師 管理栄養 士	5

ウ 医療相談事業 実施なし

エ 訪問指導事業

表11-(4)-エ 訪問指導事業実施状況(疾患別)

(単位:件)

疾患名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総数	51	39	56
重症筋無力症	1	3	1
筋萎縮性側索硬化症	39	23	42
脊髄小脳変性症	3	3	1
パーキンソン病	2	1	-
多系統萎縮症	2	-	4
ミトコンドリア病	-	1	-
脊髄性筋萎縮症	2	-	-
多発性硬化症/視神経脊髄炎	1	2	4
亜急性硬化性全脳炎	1	-	-
筋ジストロフィー	-	4	2
ウエスト症候群	-	1	1
大脳皮質基底核変性症	-	1	-
進行性核状性麻痺	-	-	1

オ 訪問診療等事業 実施なし

カ 窓口相談事業

表11-(4)-カ 相談内容

(単位:人)

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度
相談者数(延)	130	92	138
申請等	82	19	20
医療	24	20	36
家庭看護	16	42	62
福祉制度	5	5	8
就労	-	3	4
就学	-	-	-
食事・栄養	-	1	1
歯科	-	1	-
その他	3	1	7

※申請等に関する相談者数については、平成28年度より計上方法の定義を変更した。

キ 難病対策地域協議会 実施なし

12 市町村支援

管内各市の健康計画・虐待防止・自殺対策等に委員として出席し、専門的・広域的な視点から支援している。

表12 市町村への支援状況

項目 市町村	会議・連絡			
	会議名	回数	職種	主なテーマ
松戸市	松戸市少年センター	1	課	活動報告・事業報告
	松戸市学校保健会総会	1	課	事業計画・事業報告
	松戸市食生活改善協議会総会	1	次	事業計画・事業報告
	松戸市児童虐待防止ネットワーク会議	1	医	活動方針・活動報告・児童虐待の状況
	松戸市児童虐待防止ネットワーク実務者会議	4	保	児童虐待の状況等について情報交換・研修
	松戸市健康づくり推進会議	1	課	健康松戸21Ⅲの事業プラン
	松戸市高齢者虐待防止ネットワーク会議	1	次	活動報告・事業報告
	松戸市高齢者虐待防止ネットワーク 担当者会議	5	保	活動報告・事例報告
	松戸市地域ケア会議	2	次	地域包括ケアシステムの構築
	松戸市福祉相談員及び生活支援員合同 勉強会	2	精	精神疾患と障害特性、対応方法について
	松戸市地域自立支援協議会相談支援部会	6	精	活動報告等
	流山市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	課	事業計画・事業実績報告・事例検討
	流山市	流山市要保護児童対策地域協議会実務者会議	1	保
流山市高齢者虐待防止ネットワーク 代表者会議		1	次	実績報告・活動報告
流山市高齢者虐待防止ネットワーク 担当者会議		3	保	事例検討・活動報告
流山市母子定例会		3	保	事例検討・情報交換
流山市地域包括支援センター及び地域 密着型サービス運営協議会		1	次	事業計画・実績報告
我孫子市子ども虐待等防止対策地域 協議会		1	課	協議会のあり方・事業虐待防止 対策実務者会議の報告等
我孫子市健康づくり推進協議会		1	課	事業計画・実績報告
我孫子市	我孫子市自殺対策協議会	3	保	我孫子市の自殺対策について
	我孫子市心の健康教室	1	精	精神疾患と障害特性、保健所の役割 について

*職種：医（所長）、次（次長）、課（課長）、保（保健師）、栄（栄養士）、精（精神保健福祉相談員）、事（一般行政）

1.3 保健所保健・福祉サービス調整推進事業

千葉県保健所保健・福祉サービス調整推進事業実施要綱に基づき、下表のとおり開催した。

表1.3 千葉県保健所保健・福祉サービス推進事業開催状況

目的	開催年月日	主な内容	構成員・人員
乳幼児を対象とする施設における感染対策の推進	平成30年 8月20日	講演「感染症の基礎知識」(保健所) 演習「やってみよう!～オムツ交換・嘔吐処理～」 講師 野田市保育課	新設の児童福祉施設、保育施設、幼児教育施設の管理者・看護師・保育士等、市担当課職員等 36人
乳幼児を対象とする施設における感染対策の向上を支援する体制の構築	平成30年 8月21日	講演「感染症対策…次のステップが施設を変える」 講師 千葉感染制御研究所 代表 柴田 幸治 氏	児童福祉施設、保育施設、幼児教育施設の管理者・看護師・保育士等、市担当課職員等 77人
高齢者福祉施設における感染対策の推進	平成30年 9月13日	報告「管内の感染症発生状況とサーベイランス」 (保健所) 実践報告 (1)「当施設におけるノロウイルスによる感染性胃腸炎アウトブレイクの経験の報告」 (2)「インフルエンザ流行を迅速に探知するサーベイランスの強化」 報告者 管内施設担当者	高齢者福祉施設、地域包括支援センターの管理者・看護師・介護職員・生活相談員、市担当課職員等 40人
地域における麻しん対策の推進と向上	平成31年 1月22日	議題「麻しん対策の検証～オリンピック・パラリンピックを見据えて～」 (1) シンポジウム (2) 教育講演 「2018年の麻しんを振り返る～臨床診断と検査診断～」 講師 国立感染症研究所 多屋 馨子氏	管内病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会、教育機関、近隣健康福祉センターの医師・薬剤師・看護師・事務職・保育士・教員等 151人
地域における感染症の理解と感染対策の推進	平成31年 2月28日	報告「自施設における耐性菌の現状と対策について」 報告者 松戸市立総合医療センター ICN 秋山 純子氏 講演「耐性菌の現状と医療現場における実践的対策」 講師 国際医療福祉大学医学部感染症学講座 主任教授 松本 哲哉氏	管内病院、診療所、助産院、薬局及び医師会の医師・看護師・事務職・薬剤師等 75人